

棚田に吹く風

2018
冬
Winter
季刊



- 2 特集
映画に登場する棚田
- 5 フォトエッセイ
棚田との語らい
- 6 棚田・里山からのたより
様々な工夫で観光・交流事業を展開中
新潟県三条市北五百川
- 8 ヨネちゃんの ニッポン全国
棚田オーナー制度紹介
棚田⇄温泉案内所
- 9 棚田博士は今日も行く
比叡山東麓、琵琶湖を望む八王寺の棚田
滋賀県大津市上仰木
- 12 会員のひろば
- 14 エコプロ2017 出展レポート
- 15 Project Report

映画に登場する 棚田



2017年はNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」で舞台となった静岡県浜松市の「久留女木の棚田」が注目されました。昨今、棚田が舞台となったドラマや映画が話題になることが増えています。特に映画は、大スクリーンにダイナミックに広がる棚田が、ドラマチックなシーンを引き立てる重要な装置となっていることがあります。今号は、そんな棚田が舞台となった名作映画を集めてみました。



上：『阿弥陀堂だより』に登場する棚田・福島新田／左：撮影に使われた阿弥陀堂は今も残っている



『阿弥陀堂だより』

長野県飯山市 福島新田

パニック障害を病んだ妻・美智子（樋口可南子）を連れて帰郷した、売れない小説家の孝夫（寺尾聰）。美智子はもともと有能な医師で、地元の診療所で週3日働くことになる。舞台は長野県飯山市にある百選棚田の一つ・福島新田。棚田の最上部に古びた阿弥陀堂があり、おうめさんという老女（北林谷米）がそこを守っている。

映画は、特に大きな事件が起きるわけでもない農村の日常の中で、おうめ婆さんや、阿弥陀堂だよりを町の広報に連載する若い女性、孝夫の恩師夫妻との交流などを淡々と描く。徐々に病が癒やされてゆく妻。村人に交じって稲を刈り、「俺も来年はやってみようかな」と呟く孝夫。何力所も口ケ地を探してここにたどり着いたというだけあって、季節ごとの、棚田をはじめとした風景は実に美しい。夏祭り、秋祭りや地域の行事も織り込まれ、阿弥陀堂でお盆に女衆が集まってやっていた「数珠回し」は、今でも実際に地域で行われているという。

撮影は長期間となり、定点観測的な撮影もあって、100日以上に及んだ。延べ600人近い住民もエキストラ出演。セットとして造られた阿弥陀堂は、撮影終了後もその場所に残された。地元では、藁屋根を茅に置き換えたり、写真が貼ってあっただけの阿弥陀様をホンモノの仏像にしてお祀りするなどして、観光客を惹きつける努力が続けている。



「阿弥陀堂だより」特別版 DVD発売中／価格:4,700円（税抜）
発売:アスミック・エース ©2002「阿弥陀堂だより」製作委員会

2002年 東宝系
監督／小泉堯史
原作／南木佳士



映画の冒頭は満開の桜並木。並木道沿いにあるどら焼き屋の雇われ店長・千太郎（永瀬正敏）がいつものようにどら焼きを作っていると、老女・徳江（樹木希林）が雇ってほしいと言ってくる。76歳という年齢や彼女の手の指が曲がっていることもあり、一旦は断るが、彼女が置いていった「餡」の味に驚き、雇うことにする。

一時は行列ができるほど人気店になったものの、ハンセン病だと中傷され辞めざるを得なくなる徳江。彼女が暮らすハンセン病患者の施設を訪ねる千太郎。二度目に訪ねたとき、徳江は肺炎で亡くなっていた。翌年の桜の頃、千太郎は患者施設のイベントでどら焼きを売っている。

言葉では語られないが、主人公・徳江のふるさととは愛知県新城市という設定。映画の最後に登場する新城市の四谷千枚田。実際に監督や俳優は新城市を訪問し、市長に挨拶したり地元の人たちと交流もしたという。ほんの数シーンだが、桜の咲く千枚田が心に沁みる。



©2015 映画『あん』製作委員会
COMME DES CINEMAS
TWENTY TWENTY VISION
ZDF-ARTE
配給：エレファントハウス



『あん』

愛知県新城市
四谷千枚田
2015年
監督／河瀬直美
原作／ドリアン助川
「あん」製作委員会



映画『砂の器』は、松本清張による同名小説の映画化。東京の国鉄蒲田操車場での殺人事件の犯人を、二人の刑事（丹波哲郎・森田健作）が執念深く突き止めていく社会派サスペンス映画。故郷の石川県の寒村を捨てて過酷な遍路の旅に出たハンセン病の父と幼少の息子。旅先の親子を助けた実直で善良な巡査（緒方拳）。約20年を経て、偶然、息子（加藤剛）の消息を知った元巡査が、息子によって殺害される。過去を切り捨てる生き方で新進気鋭の音楽家として成功を修めた息子に、ハンセン病隔離施設に暮らす父親への訪問を迫ったためだった。

親子と巡査が出会い、親子の今生の別れの地となった場所、そして、刑事が被害者と加害者の接点を発見する場所という、この映画のもっとも重要な口ケ地となったのが奥出雲町の大原新田である。第2次大戦末期と昭和30年代、棚田と茅葺の農家が変わることのない風景として描かれている。



『砂の器』

島根県奥出雲町
大原新田
1974年 松竹
橋本プロダクション
監督／野村芳太郎
原作／松本清張



『八日目の蝉』

香川県小豆島町
中山千枚田

2011年 松竹系
監督／成島出
原作／角田光代

映画は、誘拐犯の女（永作博美）に育てられた少女（井上真央）の、幼少期と成長後を描く。一緒に地域の行事に参加した「母と子」を撮影した写真が新聞に載ったことで、居場所が発覚してしまう、その最重要シーンの一つ、中山千枚田の虫送り。伝統的で幻想的で、そして美しい。

「小豆島町中山棚田協議会」の九野さんによれば、小豆島はもともと二十四の瞳などで観光地だったが、千枚田は観光対象ではなかった。虫送りは中山地区では子供中心の行事として実施されていたが、子どもが少なくなり小学校も統合されたため止めていた。隣の地区では継続されていたため、そちらでの撮影を勧めたが、監督の「どうしてもここ（千枚田）で撮りたい」という希望で協力したという。子どものエキストラを集めるのに苦労したそうだ。千枚田最上部の湯舟山蓮華寺から、松明を掲げながら棚田の中の道を下る。傾斜もあり、夕暮れ近くの薄闇を足元に気を付けながら下ったという。

映画はこの年の日本アカデミー賞最優秀作品賞、監督賞、主演女優賞など10部門の賞を総なめ。これをきっかけに千枚田が見直された。映画には中山地区の農村歌舞伎なども登場しており、観光客が途絶えることなく訪れるようになったという。2013年に耕作者組織が発足、虫送り行事は観光客も参加できる形で続けられている。



『男たちの大和 YAMATO』

滋賀県高島市
畑の棚田

2005年 東映系
監督／佐藤純彌
原作／辺見じゅん

太平洋戦争末期の昭和20年4月、当時日本屈指の戦艦・大和は沖縄沖での戦闘に向かう途中、九州沖で米軍の攻撃によって沈没した。それから60年後、大和の元乗組員・神尾（仲代達矢）が当時の出来事を回想する形で物語が進められる。

大和沈没後、生き残った神尾（青年期役：松山ケンイチ）は、戦友・西の母親（余貴美子）のもとを訪れ、西の戦死を伝え自分だけ生き残ったことを詫言。この舞台として滋賀県高島市の畑の棚田が登場する。

ロケは2005年の6月に2日間に渡り行われた。田植え後の青々とした棚田の端に小さな炭焼き小屋のオープンセットがいくつか建てられた。出演者が実際に棚田で作業するシーンでは、地元住民が手ほどきをしたそうだ。

以前は畑の棚田を訪れるのは写真家など一部のファンに限られていたが、ヒット映画の重要ロケ地になったことでより多くの人に知られるようになった。





あつちおおしま
的山大島の棚田 長崎県平戸市

棚田との 語り



カメラを担いで、日本のアチコチに存在する棚田を追い掛け撮影しているが、ある時、棚田のそばで出会った老人は、「秋になると、この田圃のそばにあった流れてフナ、ウナギ、カニを追い掛け籠一杯取ったもんだヨ」と懐かしそうに語った。

老人が指さす方向を見ると、コンクリートの三面張りが一直線にくだっている。近づいてみると、そこは動物たちにとっては地獄であり、生存できるところではないと思えた。落ち込んだらへびでさえ生還できないのではないかと考えさせられた。加えて田圃のそばで遊ぶ小鳥の姿も少なく、花鳥風月という言葉も死語になってしまったようであった。時代は進化しているというが、逆行している事象にも気を配らなければならぬのではないかと考えさせられた。

写真・文 永田 博義



曼珠沙華

永田 博義 ながた ひろよし

1938年 長崎県佐世保市生まれ・千葉県松戸市在住
1976年 写真家前田真三先生に邂逅、指導を受ける
1984年 写真集「本土寺の四季」出版
1997年 写真集「偕楽園逍遙」出版
2005年 ポストカード「遺産 日本の棚田Ⅰ」作製
2005年 ポストカード「遺産 日本の棚田Ⅱ」作製

棚田・里山
からの
たより



様々な工夫で観光・交流事業を展開中

400年の歴史ある棚田

「北五百川の棚田」がある三条市北五百川集落は、福島県会津地方と接する市の東部に位置し、粟ヶ岳や守門岳など1000m級の山々に囲まれる戸数76戸の集落です。冬には2〜3メートルの雪が降る豪雪地帯です。

棚田は集落の北西にあつて280枚もの水田からなり、その面積は9・5畝と集落の全水田面積約40畝の4分の1に相当します。この集落でいつから棚田が築かれ、耕作されるようになったのかについてははっきりとは分かりませんが、約400年前に耕作を始めていたとの記録があり、集落とともに長い歴史を歩んできた存在であることには間違いありません。

棚田の水源

棚田を耕作するうえで一番大変なことは水の確保です。しかしこの棚

新潟県三条市北五百川

田は粟ヶ岳の伏流水が絶えず流れ込んでいたため、一年中安定的に冷たい水（水温約10℃）が供給されています。また、この棚田には耕作放棄地がなく、すべての圃場でお米が作付けされており、ここで作られたお米は非常に美味しいと評判です。

棚田の花

北五百川の棚田で自慢したいことは、棚田の周りに美しい花が咲くことです。4月の雪解けとともにカタクリが咲き、6月にはヒメサユリ、7月にヤマユリ、9月にはヒガンバナと、四季折々に花を楽しむことができます。特にカタクリの花は2012年にJR東日本の新潟デステーションキャンペーンでポスター用写真に起用され、それ以降は東京をはじめ県外からも多くの来訪者があります。2017年は約1000人の人がカタクリの花を目当てにこの棚田にやって来しました。



1：棚田の全景／2：カタクリの花／3：田植え／4：冬の棚田

都市との交流

集落では、この棚田を目玉として、都市との交流にも取り組んでいます。まず、2003年度から棚田オーナー制度を展開しています。オーナーになっている会員は、島根、大阪、東京、神奈川、長野等、他は県内で計20名いて、田植えや稲刈りなどの農作業の体験に参加してもらっています。2009年度からは、東京都荒川区の第二峡田小学校と稲刈り体験を通じて交流を開始しました。この交流は学校給食に三条市産の米を採用している荒川区の子供たちに、食育の一環として生産の現場を知ってもらうために



稲刈り体験

■ 棚田へのアクセス

- 【公共交通】** JR信越本線の東三条駅下車。駅前から越後交通・八木ヶ鼻温泉行のバスに乗り終点の八木ヶ鼻温泉で下車、徒歩15分
- 【自動車】** 北陸自動車道三条燕ICから東三条駅を目指す。ここから国道289号線経由で「したかもしか病院」近くを左折するとすぐ。ICから約40分、東三条駅前から20km約30分

■ お問い合わせ

三条市経済部営業戦略室
Tel.0256-34-5511



始めました。毎年30〜40人ほどの児童が泊まりがけで参加をしており、2017年も9月16、17日に実施し38人の児童が自分の手で稲を刈る作業を体験しました。

冬の棚田

さてこの地域は豪雪地帯のため冬場の交流人口が少ないことが課題でしたが、5年ほど前から棚田スノーシュートレッキングというイベントを行っています。2017年は3月5日に開催し25名の方が参加しました。まだ残雪が1メートル近い北五百川の棚田をスノーシュー（西洋かんじき）で歩き、雪に覆われた棚田や山々の水墨画の

ような雪景色を楽しむというものです。普段は足を踏み入れることのできない雪の棚田を堪能してもらうことができました。

棚田の将来

このように、米作りだけでなく観光や交流の拠点として多くの人を惹きつける北五百川の棚田ですが、後継者の確保が課題になっています。後継者不足はあと数年で必ずやってきます。しかし私たちはこの棚田を地域の大切な宝物として後世に伝えていきたいという思いを強く持っています。そのためにも来訪者の皆さんからこの棚田に関心を持ち続けていただけるような観



ヒメサユリの花

光、交流事業を行いながら、保全活動を進めていきたいと考えております。
(ヌメリ坂棚田管理組合代表 佐野誠五)



第十三回は福岡県うきは市にある「つづら棚田」を紹介するわ!

うきは市で最も山深い、標高500mの葛籠(つづら)には、代々受け継がれてきた約300枚の石積み
の棚田があるのよ。その歴史も400年以上ととても長い。



応募資格や最新の情報は、つづら棚田保全協議会に問い合わせみてね!
http://www.tanadaowner.com/kyusyu/ukiha_tsuzura.html



つづら棚田では毎年3月にオーナー募集をスタートするわ!

価格は一般コースで年間37,000円。作業は田植え、草取り、稲刈り、収穫祭など一年を通して参加する作業を選ぶことができるの! しかも収穫時の玄米30kg以外に、年に4回も、地元野菜や山菜・フルーツなどの農産物が入った宅配便が届くちゃうのよ! すこい!

ヨネちゃんの



ニッポン全国
棚田オーナー制度紹介
第十三回

第十三回

こちらチェックしてみてネ!

棚田オーナー募集地域紹介サイト

棚田百貨堂

検索



おごと温泉環境協会 TEL: 077-578-3750 <http://www.ogotoonsen.com/>

「琵琶湖は滋賀県の面積の何分の1でしょう?」と滋賀県の友人にクイズを出されたことがあります。答えが「1/6」と聞いて逆にびっくり、「琵琶湖は滋賀県より大きい」という冗談があるくらいです。

それほど広大で存在感がある琵琶湖が一望できる棚田があります。滋賀県大津市^{おおき}仰木。馬蹄形の棚田で有名ですが、その脇にある広場からの琵琶湖の眺望は見事です。

仰木は滋賀県の「しが棚田ボランティア制度」の対象地区で、棚田オーナー制、棚田ボランティアが非常に盛んな地域です。

特に特徴的なのは地域通貨。棚田保全活動に一日参加すると「1仰木」が貰え、棚田米や野菜と交換できるほか、地元おごと温泉のびわ湖花街道、琵琶湖グランドホテル、湯元館の入浴券とも交換できます。もちろん地域通貨がなくとも、様々な日帰り温泉プランが用意されていますので、気分に合わせておごと温泉を存分に楽しむことができます。

また、時間がない場合は、JR湖西線「おごと温泉駅」東口のタクシー乗り場付近に「おごと温泉六角足湯」があり、無料で足湯を楽しむことができます。

このように仰木には温泉に大変恵まれた棚田です。棚田のあとにはぜひおごと温泉へどうぞ。

棚田むすびの会 中崎義己

棚田↑↓温泉案内所

琵琶湖を望む棚田と温泉

全国のベスト・カップルな棚田と温泉をご紹介します!

棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の
全国棚田行脚

比叡山東麓、琵琶湖を望む 八王寺の棚田

滋賀県大津市上仰木



なかしま みねひろ
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO
法人棚田ネットワーク代表。全国棚田
(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミッ
ト開催地選定委員会委員長。1933年
宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地
歴科卒。2004年まで早稲田大学教育
学部教授。著書に『日本の棚田—保全へ
の取り組み』『百選の棚田を歩く』『続・百
選の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以
上、古今書院)。現在、百選外の棚田に
ついての執筆準備のため全国行脚中。



大津市は県の南西部にあり京都
市に接する。その中央部、琵琶湖の
西岸、比叡山の東麓に位置するの
が仰木地区である。地区は上仰木・
辻ヶ下・平尾・下仰木の4集落から
なり、小字の八王寺は上仰木に属す
る。2016年6月、棚田学会の現
地見学会で訪ね、急崖の地這り地に
ある八王寺の棚田が印象に残り、再
訪することにした。

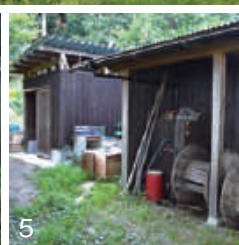
比叡山から延びる 尾根につながる棚田

2017年8月下旬、京都駅を出
発、湖西線の堅田で下車、駅前から
現地までは江若バスを利用した。た
だし平日は6便の運行であるが、土
日は2便しかなく注意する必要が
ある。バスは、駅東口を出てすぐに
駅前交差点を右折、国道161号を

大津市街地に向かって南下、仰木口
交差点で再度右折して県道313
号、いわゆる仰木道に入る。なだら
かな坂道を上り、下仰木・平尾・辻
の停留所を通過、目的地である終点
の上仰木(仰木二丁目)に到着する。
棚田は、比叡山から延びる馬の背
のようになった尾根の部分に立地す
る集落を取り囲むように広がってい
る。一つは集落より高所の尾根部分、
他は集落が立地する尾根部分の斜面
から谷間にかけてみられる。前者は
小字の廣野、傾斜10分の1程度の緩
斜面にあり、30〜40年前に個人によ
る畝町直しが行われたところだとい
う。したがって一枚が10×12mと大
きく、法面は土坡、高さが2m前後
はあり、整然とした感じがする。
後者の尾根部分斜面は傾斜が6分
の1程度、一枚の広さは5m前後、

土坡の高さは2mほど。これに対し
谷間の部分の傾斜は10分の1〜12分
の1、広さは10mを超えるものが多
く、土坡の高さは1〜1.5m程度。
尾根部分と同様個人による畝町直し
が行われたところである。そのなか
で、小字月読の部分は大津市の単独
事業で整備が行われたところで、直
線的な農道が走っている。

ハイライトの八王寺の棚田は、急
崖の地這り地にあり、傾斜3分の1
の斜面に拓かれている。頂上部分に
は八王寺という地名の由来となつた
お堂と、地元組織・八王寺組手作りの
作業小屋およびトイレがあり、東
方を望むと仰木を取り巻く棚田と新



1・2・3：棚田の近景／4・5：手作りの作業小屋

八王寺組の中心メンバーに会う

現地では、八王寺組の中心メンバー、顧問の前会長上坂達雄さん、現会長の上坂雅彦さん、幹事の穴風

興住宅地を越えた先に琵琶湖の湖面を望むことができる。上段は広さが151・5^坪、土坡の高さが2^{メートル}前後の棚田が5枚耕作されているが、そのうちの3枚は不耕起栽培が行われており、不揃いのイネが育っていた。中段から下段が八王寺組の管理している部分。中段の10段前後は耕作放棄されているが、草刈りが行われて景観保全が図られている。下段部分は八王寺組が耕作を継続し、棚田オーナー制に利用されている。広さは1^坪前後と小さく、枚数が15枚ほどの土坡の棚田である。

光恵さんにお会いした。

上坂達雄さんは73歳、奥さんと二人だけの世帯。仰木地区活性化委員会会長、上卯木・辻ヶ下第三集落協定推進委員会会長、大津市農業委員なども務める集落の重鎮。長男は同じ集落に住んでいるが所帯を持ち独立しており、農繁期のみ作業を手伝うそうだ。中学卒業後、すぐに父を助け農業に従事する。26歳の時に石川島播磨系の会社に入社、60歳の定年前まで運搬機械に取り付ける増減機を扱っていた。定年後同系列の会社で異動、大津市の焼却場事業所所長として68歳まで勤め、退職するまで兼業農家として農地を守ってきた。

水田70^坪を所有、現在は耕作放棄地を出来るだけ少なくするため、妻

の実家分60^坪の他、耕作をやめた5戸分も含め2^畝、上卯木・辻ヶ下・平尾に分散する31枚を耕作している。機械類はトラクター22馬力と姉の家で使用されなくなった19馬力の2台、乗用4条田植機、乗用2条刈ホッパー型コンバイン、乾燥機を所有。収穫された米は数十袋(30^{キロ}詰)を農協に出荷するほかは仰木地区活性化委員会食品部門が滋賀銀行、成安大学、個人企業向けに作る弁当用として使用するほかは家族や知人向けの縁故米にしているそうだ。

会長の上坂雅彦さんは50歳、娘さんたちは成長し、今は独居世帯。高校を卒業後家業の木工を継ぐが現在は郵便事業の集荷を請負う運送会社に勤務、同時に保険会社の代理店を営む兼業農家。父親が分家し

て大工になったため水田は15^坪しかなかったが、現在は耕作をやめた2戸分を含め達雄さん同様3集落に分散する85^坪、17枚を耕作している。小作料はこの地域の慣行で10^坪当たり米60^{キロ}と決まっているが、無償で引き受け放棄地にならないようにしているという。

所有する機械類はトラクター20馬力、耕転機、歩行型4条田植機、乗用型2条刈コンバイン、バインダー、乾燥機を所有、そのうち耕転機とバインダーはオーナー田に使用しているとのこと。収穫した米は農協には出荷せず、すべて自力で販売、とくに美味しいと言ってくれる大津市内の固定客に提供しているそうだ。

幹事の穴風光恵さん45歳は兵庫県尼崎市出身。成安造形短期大学から滋賀県立大学の環境系大学院に進学、終了後滋賀県農業技術試験場の技術員、あるいは大学の非常勤講師として勤めながらグラフィックデザイナーとしての技能を高め、28歳の時に成安造形大学の嘱託職員になり、その後大学の助教に就任した。地元との関わりは、嘱託職員の時代から仰木地区を対象にした各種



6: 棚田の遠景 / 7: 上坂雅彦さん、上坂達雄さん、穴風さん

の地域調査を実施している「地蔵プロジェクト」の中心メンバーとして参画、住民との親交を深め、八王寺組の仲間になった。八王寺組の幹事としては組のホームページの作成やメールによる情報発信を担当するほか、草刈機での作業にも参加するそうだ。

大都市圏近接地のオーナー制度

地元組織の八王寺組は、2007年に県が始めた都市住民を棚田保全に参画させる「しが棚田ボランティア事業」の地元側の受け皿として結成され、耕作放棄が進む八王寺がフィールドとして選ばれた。メンバーは上仰木集落と辻ヶ下集落

の農業組合の組合長とそのOBを中心に組織され、上坂達雄さんはOB、雅彦さんは当時の会長である。県の事業は年間30万円を支給し都市住民を棚田地域に送り込み、農地保全と活性化を図るというものがあったが、3年間で終了した。

地元では事業を継続させるため2010年に棚田オーナー制をスタートさせた。その内容は私が分類した類型では体験・交流型に当たる体験コースと就農・交流型に当たる充実コースの2つのタイプ。前者は3万円の使用料を払い田植え・稲刈り・脱穀の体験と玄米30kg保証、後者は同じ料金ですべての作業に参加、同量の玄米を保証するというもの。割り当てられた田圃（1ha程度）

度の収量が30kg以下の場合八王寺組が不足分を保証し、反対に超過した場合は組に寄付してもらうという約束だそう。そのほかに会費2万5千円で一升瓶4本を保証する酒づくりオーナーも用意されている。このために耕作をやめた農家2戸の棚田、およそ20ha、18枚をそれぞれ地代1・5万円を払って借り受けオーナー田にしているという。

前後、そのうち田づくりやオーナーの指導に当たる人は14名ほど。達雄さんのような定年退職後の専業農家4名、雅彦さんのような企業や農協、役所に勤める兼業農家7名、穴風さんのような非農家の会社員や大学教員3名という構成である。そのメンバー構成から、住民の高齢化と人手不足に直面する棚田地域にあって、大都市圏に近接しているという優位性のためか、担い手になる比較的小規模な兼業農家や都市住民に恵まれている地域ということができるのではないだろうか。

八王寺の棚田へのアクセス



【公共交通】JR湖西線堅田駅下車。東口から江若バスの上仰木行のバスに乗り県道313号47号線経由で終点のバス停下仰木下車、徒歩10分

【自動車】湖西道路（国道161号）の雄琴IC口から県道315号線を西方向に進み奥比叡ドライブウェイの入り口直前の狭い道を左折しバス停下仰木を目指す。雄琴IC口から2.5km、車で約6分

会員の声

「棚田まなび隊」で 学んでいます

福岡県福岡市 菊地 雅奈



私が棚田を初めて見たのは30歳を過ぎたことです。生まれた時から団地育ちで、子どもの頃は田んぼと畑の区別もつかなかったほど、土から遠いところで暮らしてきました。ひょんなことで訪れた福岡県うきは市の棚田でその壮大さに感激し、私同様に団地育ちの子どもたちに農業体験をさせようと棚田オーナーに参加しました。その後「浮羽まるごと博物館」の企画立案業務を通じて地域に関わるようになり、そのメニューの一つとして都市民交流による棚田耕作も立案しました。

そんな矢先の2012年、地域は豪雨災害によって大きな被害を受けました。その支援の気持ちを持ち寄りながら、稲作や地域の活動を学ばせてもらう活動として「棚田まなび隊」をスタートさせました。立ち上げの中心メンバーは、浮羽まるごと博物館関係者のほか、地域に研究で関わっていた学生OBや現役学生たちでした。

初年度は、水害によって土砂が流入し、橋が流されたために掻き出すための重機が入られなくなった棚田を人海戦術で復田しようということになりました。土砂の掻き出しから田起こし、被害を受けた水路の修復などを経て、ようやく秋に稲穂が実った時には何とも言えない感動につつまれました。

2年目は地域グループの耕作支援をし、3年目となる2016年から棚田百選に選ばれた「つづら棚田」をお借りして耕作しています。2016年は3枚、2017年は1枚復田して4枚を耕作



し、同時に休耕田を1枚畑として利用させてもらい、その収穫も楽しんでいます。

隊員は、ホームページやフェイスブックで呼びかけて集まった、福岡市やうきは市の社会人や学生です。耕作の維持を目的とし、また危険作業も多いため、お子さんの参加はご遠慮いただいています。30名ほどのメンバーが年間14回程度、草刈り、田起こしから代掻き、畦塗り、田植え、草取り、稲刈り、収穫祭までの活動を実施しています。無農薬での耕作なので、草取りが本当に大変です。

水の管理をはじめ、耕作の指導や電柵の設置などは地元の方にお願していますが、ほとんどのメンバーは農業経験がないため、労働の多さに驚きの連続です。また、2年目はイノシシによる被害を受け、2017年は無事収穫までこぎつけたものの乾燥が不十分で収穫米にカビが発生してしまうなど、自然に翻弄されながらの活動で、文字通り「まなび」だらけです。

隊長が産休・育休のため、2016年からは私が事務局を引き受けて活動をサポートしています。また同時に社会人ドクターとして大学に籍を置くようになり、研究でも棚田に関わっているため、業務以外では棚田一色の日々となっています。苦労も多いですが、棚田に立つとそんな苦労も風に吹き飛ばされてしまうのです。そんな気持ちを多くの人と共有したいと思っています。

会員のひろば



会員の声募集!

「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください! (ご要望、感想やご質問でもOK!) (会員の声800字まで、会員レポート400字まで。写真も添えて) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム704号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛 メールでも受け付けています ↓ hiroba@tanada.or.jp



会員さんの Best Shot!

ベストショット募集!!

みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎月、紹介させていただきます! 送り先は下記。

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-18-16
トーシンハイム704号
「棚田に吹く風 ベストショット」宛
メールでも受け付けています
⇒ hiroba@tanada.or.jp



福岡県東峰村・竹の棚田 埼玉県 峠一飛

7月の水害で甚大な被害の出た地区を秋に訪ねてみました。棚田の被害は比較的軽く安堵しました。

棚田散歩

長崎県波佐見町
鬼木棚田



波佐見町棚田サミットに参加して

今年の棚田サミットは、陶器産地として有名な長崎県波佐見町で開催された。現地見学では、鬼木棚田と国内最大級の登り窯跡や陶器工場見学などを回るコースで天候にも恵まれ、楽しめた。

鬼木棚田は、棚田まつりのユニークな案山子で知られ、期間中2万人以上の人が訪れるという。その案山子に迎え入れられ、扇状に広がる棚田を背景に、藤井5段やピコ太郎などの世相を反映したものの、人間とイノシシが逆転した獣害をテーマにしたものの、老夫婦のほのぼのとした人生観などコメントを読みながらにんまりとさせられるものばかり。若者の着想や活気を感じさせてくれる。

棚田は、約二十二ヘクタールを一望でき、山側に一部耕作放棄がみられるものの、よく管理され、気分爽快となる。隣接する中尾郷の窯元巡りと合わせたツアーも行われ人気があるという。地元のお茶と手作りの饅頭をいただきながら活気のある波佐見町を満喫した一日でした。

(茨城県取手市 杉山 行男)



2006年／日本／カラー 100分
監督：原村政樹／制作：桜映画社
文化庁文化記録映画優秀賞、キネ旬文化映画ベスト・テン第4位、文部科学省選定、東京都知事推奨

いのち耕す人々

農家の半数が有機農業に取り組む、山形県高島町。この映画は20年前の高島を記録した映像を紹介しつつ、有機農業の歴史を伝え、多彩な農民の暮らしを通じてその信念を貫き生きる輝きを、里山の美しい自然と共に映し出している。また、農業体験で高島を訪れ、農民の生き方に触れたこともたちが、土と戯れ、みずみずしい感性を耕していく様子が、溢れんばかりに映し出されている。食育や、環境問題に関心の高まる今日に、ぜひ鑑賞して欲しい長編ドキュメンタリー映画。



編集部イチオシ! BOOK & MOVIE



でんでら国
上下巻



著者：平谷美樹
発行：小学館文庫
2017年6月6日
上：659円／下：583円

表紙の棚田に思わず手が出る2016年に話題となった平谷美樹の時代小説の文庫版。時は幕末、陸奥国八戸藩と南部藩に挟まれた小さな国大平村。六十歳になったこの村の人々は姥捨山の奥に老人達の桃源郷「でんでら国」を作っていた。でんでら国で老人たちが汗を流すのが棚田で、それは当時御法度であった隠田であった。その隠田を暴こうとする代官とそれを守ろうとする農民たちの攻防戦が愉快痛快である一方、現代の高齢化社会の老人の生き方にも一石を投じる一冊。

棚田へおいでよ!

恒例の、環境展示イベント「エコプロ2017」が12月7日～9日の3日間にわたり東京ビッグサイトで開かれました。東北から四国までの12地域14団体が参加し、棚田の魅力をアピールしました。



棚田ネットワークの
かつどうノート



エコプロ2017

環境とエネルギーの未来展

2017年12月7日(木)～9日(土)

出展レポート

日本の棚田共同展示コーナー

棚田連絡協議会を中心に、全国各地の棚田保全団体が共同出展するようになって4年目。今回も、お馴染みの町や市など12地域が集まりました。展示や物販、ステージでの地域紹介、クイズラリーのほか、初めて「棚田・里山 酒の陣」というコーナーを設置。棚田地域の作物を原料として造られた11種類のお酒が並びました。三種類のお酒が試飲ができるとあって大賑わい、このコーナーだけで三日間で700人もの方が訪れました。

棚田ネットワークのブースでは

ブースで注目を浴びたのは何といっても新刊本『全国棚田ガイド』でした。多くの来場者が足を止め買い求めていました。あるアマチュアカメラマンは「こんな本を探していたんだよ」と興奮しながら買って行きました。用意した20冊は2日目で完売、急遽追加して対応しました。このほか旧暦棚田ごよみの販売や、棚田オーナーに関する相談、古民家、幼稚園児の棚田体験など多彩な相談が寄せられました。



千葉県鴨川市

川代棚田でお米づくり

3年目終了、来年度に課題も



川代体験ほ3年目を無事終了し、9月17日には収穫した美味しい長狭米を受け取ることが出来ました。地元関係者を始め、各行事に参加された皆さま大変ありがとうございました。

今年度は大きな災害もなく順調と思われていましたが、8月に天候不順から稲の生育が遅れ、稲刈りを予定より1週間遅くしました。

参加者は田植え5月3日14名、草刈り7月9日3名、8月20日草刈り1名、稲刈り5名、合計23名と前年より10名減と少な目でした。マイクロバスによる行事は、ある程度の参加者が必要のため、

来年度はどのような行事にするか工夫が必要と思われます。棚田保全の大切さや棚田の魅力を体験していただくため、川代プロジェクトを続けていきたいと思いますので、皆様の率直なご意見をお寄せください。

(杉山 行男・上久保 郁夫)

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

2017年も無事終了！



「雷^{すなわ}乃^{おさ}ち声を収む」。気持ち良い秋空の中、稲刈りは9月24日に開催しました。4名参加、遠方からの参加者もありました。早稲田大学の女子学生が坂折棚田で卒業論文（住民ヒアリングが中心）を書くとのこと。稲刈りにも参加して頂きました。大学では農業系のサークルに所属しているので、稲刈りは経験済みでした。上段のビオトープは水が冷たく、もう少ししてから稲刈りをおこなうことになったため、中段のビオトープのみの稲刈りとなりました。人数も少ないのでちょうど良い面積。保存会の方の協力を得て、恒例のミニはさ掛けを作り、束にした稲を干しました。

さて、春の水溜りに卵を産むヤマアカガエルの卵塊を探す「第11回かえるの卵を探そう！」が2018年3月21日（水祝）に開催されます。毎年、我々の訪問に合わせて卵を産みます。ぜひご参加を。

(相田 明)

静岡県松崎町

石部棚田で昔ながらの米づくり

稲刈り～新米を食べる会で2017年も完走！



10月7、8日に稲刈りを行いました。ところがハザに掛けてから、長雨、台風が続き、4週間掛けっぱなし。稲が発芽してしまうのではと心配されましたが、なんとか11月に入って無事、脱穀・精米を行いました。そして収量は、なんと前年を20kg上回り144.5kg！ 要因はわかりませんが、早い段階でノビエの駆除を行ったので、その効果もあったかもしれません。そして11月12日には、交流棟にて「新米を食べる会」を開催しました。全7回のイベントにフル参加してくれたご夫婦や常連さん、初めて田植えに参加したご家族などで、和気あいあいと収穫されたばかりの新米を味わいました。これで6年目の米づくりイベントもすべて終了。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。2018年は3月25・26日（予定）に畦切り・糞口作りがスタートします。

(高桑 智雄)

ごはんで笑顔を、もっと、もっと。



ライスマイル

PROJECT

ごはん大好きな会社、象印マホービンによる、ごはん大好きなヒトを増やしていくプロジェクト。
さまざまなコンテンツを通じて**ごはん好きの輪**を広げていきます。

**貯まる！
ごはんで米レージ**

ごはんに関連するアクションをすることで「米レージ」が蓄積、抽選でごはんアイテムをプレゼント。



**ニッポン・
ごはん自慢**

ごはんの魅力が詰まった日本各地の駅弁・レトルトカレー・ふりかけをご紹介します。



**あっぱれ！
五つ星ごはん**

ごはんがビックリするほど美味くなる！計り方や洗い方など「五つの工夫」をご紹介します。



ライスマイル

皆さまのご参加お待ちしております。

スマートフォンでも
参加できます。



わたしたちと「**棚田の応援団**」やりませんか！

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい！」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか？一緒に考えませんか？ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう！

会員に
なろう！

年会費

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか？

○個人会員

維持会員	1口1万円(1口以上)
一般会員	4,000円
応援会員	3,000円
学生会員	2,000円

法人会員を募集しています！

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

○法人会員(賛助会員)
1口3万円(1口以上)

最近の炊飯器はとにかくスゴイ。日本のかまど炊きの伝統技術と最新科学の融合した最高級品は、ゆうに10万円を超えて海外でも大人気のようです。そんな炊飯器メーカー大手の一つ象印さんが行っている、ごはんの素晴らしさを伝える「ライスマイルプロジェクト」。サイトに会員登録して、川柳やごはんの写真を投稿すると「米レージ」というポイントが貯まり、プレゼントがもらえたり体験に参加できたりするのです。そして2018年2月1日から1ヶ月、その米レージを棚田ネットワークの棚田保全活動に寄付できる企画が開催されます！象印さんが棚田保全に協力したいと申し出てくれて実現しました。ぜひ、みなさんご参加ください。

編集部から

ホームページのぞきを見て！

棚田ネットのWebサイトも見てみてください！



<http://www.tanada.or.jp>



2018年 冬号 Vol.106

発行  認定NPO法人
棚田ネットワーク

〒160-0023
東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号
Tel / Fax 03-5386-4001
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp
郵便振替口座 : 00100-7-151565